

・アメリカシロヒトリ被害について・補助金の見直し基準について

・災害対策に係る職員の諸手当について



新風新政会
う さ み まこと
宇佐美 誠



詳しい内容は
こちら

まず、1点目にアメリカシロヒトリ被害についてです。市内の広範囲に被害が見受けられています。葉の食害があるほか、幼虫の見た目から大量発生する様子が嫌悪感を抱かれています。本市では、市ホームページ等での注意喚起や殺虫剤の配布などを行っていることから、被害の状況や対策などについて聞きました。

2点目として、補助金の見直し基準についてです。古い話ですが、平成24年に「補助金等交付指針」及び「補助金等見直し基準」が示されました。以降、補助金の見直しが随時行われています。他方、近年では、市民活動や地域活動の活性化などから、補助事業数が増加しているよう

に感じられるため、これまでの見直し経過や、交付事業の状況、これからの補助金のあり方について聞きました。

3点目として、災害対策に係る職員の諸手当についてです。令和6年9月の大雨による土砂被害では、避難場所開設など、複数の職員が動員命令に基づき出勤しました。この動員は、緊急呼出という考え方ですが、緊急呼出手当の支給対象外です。そこで、現在制度化されている緊急呼出や災害作業に応じた手当や時間外勤務手当などについて聞きました。

・第三次総合計画にある小中学校教育の充実について

・第三次総合計画にある防災・減災について

学校教育全体を通して、主体的・対話的な深い学びの視点で子どもたちに寄り添う授業づくりが大切です。さらに思考力、判断力、人間性を高めバランスよく育むことが重要であります。また老朽化した学校施設もあり、定期的な点検や計画的な改修修繕による長寿命化を図る必要があります。

次に防災・減災の推進ですが、全国で地震による災害、台風や極地的豪雨被害などが多発しており、地方公共団体として市民の生命を守るため様々な対策が急がれます。自分の命は自分で守る自助、自分たちの地域は自分たちで守る共助、行政など公的機関による支援公助の連携のも

と、危機管理体制の充実強化を図り市民と行政が一体となり防災体制を強化していく必要があります。以上のことを踏まえて質問を致しました。



読書は児童生徒の読解力を育成する



新風新政会
いま い としひろ
今井 敏博



詳しい内容は
こちら